

第一回ルートワン地域連携推進会議

開催日時 令和8年1月17日(土) 13:00 ~ 14:00

開催場所 ルートワン リビング

目的 地域連携推進会議の構成員や当日の流れを確認し、事業所の運営状況や支援の様子について共有するとともに、地域とのつながりを深めることを目的とします。

参加者 ルートワン利用者： [REDACTED] 利用者の家族： [REDACTED] ※利用者と別の保護者)

地域の関係者： NPO 法人 CSP [REDACTED]

1. 施設等・地域の連携について 〈担当：飛弾〉

①障害について

発達障害と自閉スペクトラム症の特性についての振り返りを行い、各ユニットでの支援について説明をした。

②近隣からの苦情等の共有

各ユニットでの受けた苦情の説明とその苦情に対する対応、現状の説明を行った。

③地域行事のご案内

各ユニットでの地域行事への参加例の共有を行った。

2. 施設等やサービスの透明性・質の確保 〈担当：栗原、大槻(天)〉

①利用者の日常生活の様子について : 栗原

ルートⅡより2名の利用者の普段のスケジュールと支援体制について共有を行った。加えて余暇の過ごし方や休日のイベントの様子について共有を行った。

②経営状況の報告 : 大槻(天)

法人の理念の変更とその内容、またその経緯の共有と説明。現在行っている取り組みと、今後の展望について共有を行った。(現在行っている取り組み：週に1回のサービス向上会議、職場内外へのハッピーカードの取り組み、外部での実践報告、マニュアルの作成と導入等 今後の展望：社内大学、日本一の支援者集団へ)

3. 利用者の権利擁護（担当：大塚（匠））

①虐待、事故、ヒヤリハットの報告

年に一度の虐待防止研修の実施と内容の説明を行った。実際に起きた事故報告とヒヤリハット事例と再発防止のための共有を行った。

②利用者・支援者の様子 ・利用者の意向アンケート結果

支援者が特に意識している点や目指す環境について、支援状況の共有を行った。また利用者から実際に頂いたご意見と支援における改善について説明を行った。

4. 意見交換

・マニュアルについて内容の充実に感銘を受けた。

・後半の内容で理解できないところも多く、少し長く感じる部分があった。

・理念の内容について、外部にも共有できると良いと感じた。

・支援の方法や基準、法人文化について、とても丁寧に明文化されていて勉強になった。

・常勤と非常勤の支援の質の差を減らす課題としてどのような取り組みを行っているか

→常勤と非常勤の差について業界全体の課題ではあるが、行っている取り組みとして採用時に法人として掲げるコアバリューに沿っているか、理念を全うできるかを精査している（採用率 30%）。またマニュアルの内容や理念、コアバリューの浸透に向けて繰り返し説明を行っている。

・マニュアルについて、資格を必要としないからこそ支援の質の担保のために必要なものだと感じる。

→思いのある職員がいるからこそ、価値観の違いで支援に相違が出たりコミュニケーション不和にならないように、また一つ一つの支援の定義を行っている。

認証欄

本議事録の内容について、相違ないことを確認しました。

・所属	・役職	氏名
ルート3	保護者	
NPO法人 チャレンジドサポートプロジェクト	サービス管理責任者 リーダー	
ルート7ン	利用者	
ルート7ン	利用者	